第３学年 保護者の皆様

４月に実施されました『全国学力・学習状況調査』の結果がでましたので、その結果に基づき、本校の教育課題を明らかにし、学力向上に向けた今後の取組等を、次の資料にまとめましたのでご一読ください。

◆『我が校の強み弱み分析・評価シート』：本校生徒の強み・弱み及び生活実態分析
授業改善等、本校の具体的な取組内容

なお、分析結果については、全教員が共通理解し、学ぶ力向上策に基づく授業改善等、新たな取組も推進したいと考えております。保護者の皆様もご一読いただき、ご理解・ご協力をお願いします。

【令和６年度『全国学力・学習状況調査』分析結果】

我が校の強み・弱み分析・評価シート

◇ 結　果

《強み・弱み》

【国 語】　平均正答率が全国・県ともにやや劣っていますが、「知識及び技能」の観点では、全国や県と同等でした。全体的に無回答率が低く、回答しようとする前向きな気持ちが見られました。「思考力・判断力・表現力」の観点のうち、「読むこと」に関しては平均を大きく下回りました。設問の正答率から分析すると、本文に書かれていることを理解するために着目する内容を決めて要約することや、短歌の内容について描写を基に捉えることなどに課題が見られました。

【数 学】　「図形の移動について理解しているかどうかをみる」問題や、「与えられたデータから最頻値を求めることができるかどうかをみる」問題は、全国平均よりも高く、7～8割程度の正答率でした。「筋道を立てて考え、事柄が成り立つ理由を説明したり証明したりすることができるかどうかをみる」問題や、「データ（箱ひげ図）を比較して解釈できるかどうかをみる」問題は、全国平均よりも大幅に下回っていました。

【課 題】　国語・数学ともに「強み」と「弱み」がはっきり分かれており全国の平均正答率をかなり下回る問題も見られました。また、知識は身についているものの、文章で表現することや、資料を読み解く力に課題が見られました。

◆ 生徒質問紙

≪国語≫

・５０％程度の生徒が「国語が好き」と回答しており、９０％近い生徒が「国語の勉強は大切だ。」「国語の授業は将来社会に役に立つ」と考えており、興味・関心の高さがうかがえます。

・「話題や展開を捉えながら話し合い、互いの発言を結び付けて考えをまとめている」と回答した生徒も９０％に及んでいて、授業での学び合い活動の成果と考えられます。

≪数学≫

・数学の勉強に対して「好きですか」「内容はよくわかりますか」等の問いに対して肯定的な回答率は、全国平均よりも高かったです。

・「問題の解き方がわからないときは、あきらめずにいろいろな方法を考えますか」「別の解き方を考えますか」等の質問に対して肯定的な回答率が高く、主体性の高さがうかがえました。

【生活実態】

1.生活習慣・学習習慣

①朝食の摂取、決まった時間に起床・就寝する生徒が多く、基本的な生活習慣が身についています。また、スマホ等のルールを家庭で決めて守っていると答えた割合は全国と比べて高かったのですが、ゲームや動画視聴等を行っている時間は長くなっています。

②授業では「ＩＣＴをよく活用している」と答えた割合が高く、活用方法を工夫しながら自分のペースで学ぶことができ、学習の理解や意欲につながっていると考えられます。

2.自己有用感・学校満足度

「自分にはよいところがある」「先生は自分のよいところを認めてくれている」「困りごとや不安があるときに、先生や学校にいる大人にいつでも相談できる」と答えた割合は全国と比べて高く、自己肯定感が高く、大人を信頼し、安心して学校生活を送れていることがうかがえます。

3.規範意識

「いじめはどんな理由があってもいけない」などの規範意識や、「人が困っているときは進んで助けている」と答えた割合が高く、優しい気持ちをもった生徒が多いことがうかがえます。

指導の充実に向けて

本校では、「心豊かでたくましく社会を生き抜く子どもの育成」を学校教育目標に掲げ、確かな学力を身につけるために、個別最適な学びと協働的な学びの一体的な充実を図り、学び合い学習の進化と効果的なタブレット端末の活用を軸とした授業改善に取り組んでいます。学校での「協働的な学び」や「タブレット端末を活用した学習」が定着してきており、その取組に生徒は満足していて、学習の意欲や理解につながっています。

一方で、家庭ではスマートフォンの利用機会が増え、家庭学習の時間に大きく影響しています。また、新聞を読む機会や読書に費やす時間の減少が見られ、家庭学習の定着が課題です。

このような本校生徒の実態を鑑み、今年度の全国学力・学習状況調査の結果に基づいて授業改善を進め、家庭や地域と連携・協働しながら特色ある学校づくりを推進し、次代を生き抜く力を育むよう支援していきたいと考えています。

■学力向上策について

【国語】

〇「論理的に考える力を養い、自分の思いや考えを広げ、深めること」をめざし、授業を展開していく。また、「それを他の人に伝える」という学習を積み上げ続ける。今後も「話す・聞く・読む・書く」のすべての力を養うため、 授業の中では「学び合い学習」を取り入れる。具体的には、多様な文章から読みとったことを相手に伝えたり、他者の意見を聞いて自分の考えを述べるなどである。また、「レポート作成、意見の発表、討論」など様々な仕組みの中でトレーニングを繰り返す。

〇特に今回の課題として残った「読むこと」に関しては、インターネットの活用により、すぐに結果にたどりつくことが短絡的な思考スタイルに繋がり、読み取る力の育成に至らなかったことが予想される。読む力を養うためにも、授業の中で二つの説明文を比較するような授業内容を取り入れる等で意識を高め、粘り強く取り組み、力をつけていきたい。

【数学】

〇自分の考えや答えを導く手順を、図や表、文章で書き表す学習活動を行い、筋道を立てて考えることができるようにする。

〇学習課題に習熟したり、求め方を工夫したりすることができるように、反復学習を行い、基礎基本の定着を図る。

■家庭における学習対策

【国語】

〇家庭での読書の奨励や、読書週間の利用、図書の知識提供等を行い、読書紹介や読書感想文を長期休業の課題とする。

〇引き続き、日常的に授業の中で課す記述問題を家庭学習としても推奨し、その内容をメタモジアプリで共有するという方法をとる。

〇タブレット端末によるeライブラリでの文法問題等で、知識の復習を行う。

【数学】

〇基本プリントを配ったり、ワークや新研究の問題を具体的に提示したりすることで、少しでも自分自身から家庭学習に取り組めるようにしていく。